



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貴 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,659	△2.6	295	93.2	531	74.2	337	137.0
2019年3月期第1四半期	18,129	0.0	152	△83.9	305	△74.5	142	△78.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △116百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 △1,431百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	32.21	—
2019年3月期第1四半期	13.59	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	105,443	55,000	51.8
2019年3月期	105,006	55,248	52.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 54,638百万円 2019年3月期 55,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	25.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	35,000	△3.9	400	△28.6	600	△36.9	300	△36.3	28.59
通期	72,000	2.5	500	77.0	1,300	48.0	1,000	501.8	95.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,145,249株	2019年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	652,132株	2019年3月期	652,127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	10,493,117株	2019年3月期1Q	10,494,497株

（注）当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費も持ち直しており、緩やかな回復が見られました。しかしながら、世界経済に減速傾向が見られる中、通商問題や海外の政策に関する不確実性等のリスクがあり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを掲げた中期経営計画において、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

## ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、他素材容器への転換等により国内ガラスびん業界全体の出荷量が前年同期比95.7%と減少した中、当社の出荷量も減少しましたが、海外子会社における価格改定や品種構成による販売価格の上昇により、セグメント売上高は12,241百万円（前年同期比1.5%増）と増収となりました。セグメント利益は、当社において出荷量減少に伴う生産量減少がありましたが、海外子会社における販売価格の上昇という増益要因や為替の影響等により、187百万円（前年同期は△229百万円の損失）と増益となりました。

## ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社において、プラスチックキャップ全体の出荷は前年並みとなりましたが、高価格製品の出荷が増加し、セグメント売上高は1,933百万円（前年同期比1.0%増）と増収となりました。セグメント利益は、当社において減価償却費の増加等はありませんでしたが、生産量の増加等の増益要因により、194百万円（前年同期比1.6%増）と増益となりました。

## ③ 物流関連事業

物流関連事業では、取り扱い物量の減少等により、セグメント売上高は2,674百万円（前年同期比5.3%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や外注費等の費用削減等により、20百万円（前年同期は△71百万円の損失）と増益となりました。

## ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社の電子部品用ガラスや国内子会社の光通信用キャップ部品の出荷が減少したため、セグメント売上高は809百万円（前年同期比39.0%減）と減収となりました。セグメント利益は、製造経費等の削減に努めましたが、当社および国内子会社ともに減収の影響があり、また当期から連結の範囲に含めた海外子会社の立ち上がりによる損失を取り込んだため、△114百万円（前年同期は140百万円）と損失となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は17,659百万円（前年同期比2.6%減）と減収となりました。連結営業利益は295百万円（前年同期比93.2%増）と増益となり、持分法による投資利益は307百万円（前年同期比17.5%増）となったため、連結経常利益は531百万円（前年同期比74.2%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、337百万円（前年同期比137.0%増）と増益となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期における第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、2019年5月13日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2019年8月8日）公表の「2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,114	13,758
受取手形及び売掛金	19,568	20,326
商品及び製品	7,174	7,328
仕掛品	224	296
原材料及び貯蔵品	2,838	2,928
その他	740	848
貸倒引当金	△51	△50
流動資産合計	43,609	45,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,022	7,912
機械装置及び運搬具(純額)	13,894	13,801
工具、器具及び備品(純額)	1,060	1,032
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	291	254
有形固定資産合計	33,600	33,333
無形固定資産		
その他	1,512	1,586
無形固定資産合計	1,512	1,586
投資その他の資産		
投資有価証券	3,410	3,017
関係会社株式	21,457	20,606
退職給付に係る資産	860	857
その他	581	630
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	26,283	25,086
固定資産合計	61,396	60,006
資産合計	105,006	105,443

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,210	8,520
短期借入金	6,939	7,068
1年内償還予定の社債	100	50
未払法人税等	360	178
賞与引当金	499	350
役員賞与引当金	17	5
その他	5,727	5,453
流動負債合計	21,855	21,626
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	20,099	21,189
リース債務	1,425	1,312
環境対策引当金	21	17
退職給付に係る負債	3,133	3,134
繰延税金負債	1,034	990
その他	687	671
固定負債合計	27,902	28,815
負債合計	49,758	50,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,697
利益剰余金	27,775	27,654
自己株式	△1,236	△1,236
株主資本合計	57,311	57,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,258	982
繰延ヘッジ損益	△133	△178
為替換算調整勘定	△2,715	△2,833
退職給付に係る調整累計額	△538	△521
その他の包括利益累計額合計	△2,128	△2,551
非支配株主持分	65	362
純資産合計	55,248	55,000
負債純資産合計	105,006	105,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	18,129	17,659
売上原価	14,894	14,456
売上総利益	3,234	3,202
販売費及び一般管理費	3,081	2,907
営業利益	152	295
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	52	50
持分法による投資利益	261	307
その他	122	90
営業外収益合計	438	452
営業外費用		
支払利息	100	101
為替差損	70	16
租税公課	28	28
その他	86	69
営業外費用合計	285	216
経常利益	305	531
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産廃棄損	4	—
支払補償金	—	46
特別損失合計	4	46
税金等調整前四半期純利益	307	485
法人税、住民税及び事業税	153	110
法人税等調整額	9	55
法人税等合計	162	165
四半期純利益	144	319
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益	142	337

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	144	319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177	△275
繰延ヘッジ損益	59	△45
為替換算調整勘定	△115	68
退職給付に係る調整額	1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,700	△184
その他の包括利益合計	△1,576	△435
四半期包括利益	△1,431	△116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,433	△84
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△31



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,061	1,915	2,825	1,326	18,129	—	18,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	125	2,673	2	2,801	△2,801	—
計	12,061	2,041	5,498	1,328	20,930	△2,801	18,129
セグメント利益 又は損失(△)	△229	191	△71	140	30	122	152

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額122百万円には、セグメント間取引消去等27百万円、その他の調整95百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,241	1,933	2,674	809	17,659	—	17,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	133	2,659	1	2,794	△2,794	—
計	12,242	2,067	5,333	811	20,454	△2,794	17,659
セグメント利益 又は損失(△)	187	194	20	△114	287	7	295

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引消去等32百万円、その他の調整△25百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は2019年8月7日付で、Cambium Arglass LLC社と共同でArglass Yamamura, LLCを設立することを決定し、出資に関する契約を締結しました。

1. 設立の目的

北米におけるガラスびん事業の展開を目的としております。

2. 設立の時期

2019年8月

3. 合弁の相手先の名称

Cambium Arglass LLC

4. 新会社の名称、事業内容

(1) 名称 Arglass Yamamura, LLC

(2) 事業内容 持株会社

5. 新会社の子会社の名称、事業内容

(1) 名称 Arglass Southeast LLC

(2) 事業内容 ガラスびんの製造販売

6. 新会社への出資額、出資比率、議決権比率

(1) 出資額 45百万米ドル

(2) 出資比率 当社75%

(3) 議決権比率 当社50%